



加悦谷 ニュースレター



一人一人の可能性を伸ばす
加悦谷高等学校
宮津天橋高等学校
加悦谷学舎

vol.2(7月)

題字：加悦高書道部
秋保 優姫(3年) 作

副校長からのメッセージ



高校時代は、人間的に大きく成長し、人生で最も輝いている時期の一つです。後で振り返ると「あれだけよく頑張れたな。」「あの頃は毎日忙しかったけれど、日々ワクワクしていたな。」と思えるのがこの時期だと思います。

中学生の皆さんには、高校生活をとおして、「地道な努力に真正面から向き合い、なりふり構わず一生懸命になることは、実はとても格好良いことだ。」ということを感じてほしいと思います。「自分は努力が嫌いで、そのくらいは努力しなくてもできる。」という低いレベルではなく、「一生懸命にやって届くかどうかの目標に向かってひたむきに努力し、やりきる。」ことをぜひ経験してほしいと思います。

「精一杯頑張ったので悔いはない!」この言葉は、目標としていたところに届かなかった時に口にすることが多いですが、実は、この言葉を人生で何回言えるかが重要です。「結果よりも過程が大切だ。」といわれますが、その通りです。高校時代では学習や部活動、生徒会活動やボランティア活動など様々な

活動があります。どの分野でもよいので「自分の限界を感じるくらいの努力」をしてほしいと思います。その「努力」がその後の人生に大きく影響します。そのことが、高校生活を送る大きな意味の一つだと思います。

中学生の皆さんの一生懸命な姿を加悦谷学舎で見せてください。宮津天橋高校加悦谷学舎で待っています。

【2年生】第二次世界大戦中の与謝野町について学ぶ



2年生の「総合的な探究の時間」では、沖縄への修学旅行に向けての探究活動ならびに平和学習を行っています。その一環として、令和2年6月22日(月)には、与謝野町で絵本の読み聞かせをされているマザーグースの会の皆様にお越しいただき、「エイエンノヘイワ — エバンスさんの捕虜収容所日記より」の紙芝居を行っていただきました。

紙芝居は、書籍「憎悪と和解の大江山～あるイギリス兵捕虜の手記～」を基に作られたもので、第二次世界大戦中、大江山捕虜収容所に収容されたフランク・エバンス氏が過酷な状況の下で強制労働させられた様子を記したものです。講演を聞いた生徒の感想では、「『日本人が悪いのではなく、人間の心を狂わせた戦争が悪い』という言葉が印象に残りました。」

「身近な所でこんなに辛いことが起きていたのを初めて知りました。」

などがあり、紙芝居をとおして、戦争中に与謝野町で起きた現実を学ぶ機会となりました。



講演を聞く生徒たち

【1年生】丹後ちりめんの歴史をとおして、丹後地域を学ぶ



和2年6月23日(火)、1年生の総合的な探究の時間に、丹後織物工業組合理事長の今井英之氏を招いて、「丹後ちりめんの歴史から自分たちの住んでいる地域を知る」をテーマにした講演会を行っていただきました。

丹後ちりめんが栄えた歴史的な背景だけではなく、当時の日本人の生活様式、丹後地域の気候や着物が海外に及ぼす影響などに触れ、広い視野で丹後ちりめんについて御講演いただき、理解を深めました。生徒からは、

「丹後ちりめんは、名前は知っているけれど、どんなものなのか、どんな歴史なのか、など詳しいことは知りませんでした。今回の講演で初めて知ったことが沢山ありました。」

「丹後ちりめんの実物を触ったことがなかったです。また、丹後が絹織物の生産が日本一だということを初めて知りました。」

などの感想があり、多くの気づきを得る機会となりました。



講演中、メモをとる生徒



【3年生】希望進路実現に奮闘中！！

3年生は、希望進路実現のため、放課後に就職ガイダンスや進学希望者向けの受験対策講習など、自分の希望に応じた講座を受けています。就職ガイダンスでは外部講師を招いて、集団面接の練習を行ったり、自分の強みを整理し、まとめるなどの対策を行っています。講師から教えていただいたことを生徒同士で指摘し合いながら、面接練習に備えています。夏からの就職活動に向けて、少しずつ力をつけています。



生徒同士での面接練習

【生徒会】令和2年7月豪雨災害支援基金を設立



募金活動を行う生徒会の生徒



和2年7月豪雨により、九州をはじめ日本の各地に甚大な被害が

でていることを受け、生徒会が、「令和2年7月豪雨災害支援基金」の募金活動を校外で行いました。

校外の募金活動は、与謝野町内の食料品店に御協力いただき、店頭前で募金活動をしました。多くの方々に募金いただきありがとうございました。いただいた募金は、日本赤十字社を通じて、被災地に届けます。

【1年生】放課活動時間に自主的活動 ～ボランティア清掃～

1年生は、毎日が6限授業で、放課後の時間を放課活動時間として“自主的活動”の時間と定めています。そのため、1年生は進学講習、部活動、個別指導や生徒会活動など、「今後の自分にとって必要な選択」をして、放課活動時間を過ごしています。6月に入ってから、定期的に「ボランティア清掃」を行う取組が始まりました。有志で校内や学校周辺の清掃活動を行っています。6月は、学校前のバス停周辺の草刈りや苔を取り除いたり、学校内で使われていなかった倉庫内の



道端を清掃する様子

【アスリートスポーツコース】TV取材されました！



2年生のトレーニングの様子



3年生による、小学生とのスポーツ交流でのメニューを考案し、発表する様子



インタビューに応じる3年生

京都与謝野町有線テレビ(KYT)が、宮津天橋高等学校宮津学舎ならびに加悦谷学舎の特色を伝えることを目的に、特集を組むこととなりました。加悦谷学舎はアスリートスポーツコースを紹介することとなり、6月にこのコースの2・3年生が取材に応じました。

2年生はトレーニングの様子を中心に、3年生はトレーニングだけでなく、小学生とのスポーツ交流会で行うトレーニングメニューを考える様子などが取材されました。

トレーニング中の声の掛け合いなどについても以上に大きく、自己ベストを更新するなど、アスリートスポーツコースで大切にしている「心と体を鍛える」の成果を存分に発揮することができていました。

片づけをしました。また、「清掃後は部活動に行く」「教室で勉強する」など、各自、放課活動の時間を有効に過ごしています。



フェンスから外に出ている草を抜き取る生徒たち

今、加悦谷がNEW TYPE

生徒たちの学校生活なども更新中！Web サイトもご覧ください

加悦谷高校



宮津天橋高校

ホームページ



京都府立
加悦谷
高等学校



京都府立
宮津天橋
高等学校
加悦谷学舎

京都府与謝郡与謝野町字三河内810

電話：0772-42-2171

FAX：0772-42-2172

電子メール：

kayadani-hs@kyoto-be.ne.jp

高校HPの
QRコード⇒

